

第 36 回電波功績賞表彰式を開催

6月26日（木）、第15回定時総会に引き続き、第36回電波功績賞表彰式を開催しました。当会の島田会長の挨拶に続き、川崎総務大臣政務官からご祝辞を頂戴し、電波功績賞選考委員会の高畑委員長より選考結果をご報告いただきました。続いて、川崎総務大臣政務官から当会創立30周年を記念した総務大臣表彰（電波産業会創立30周年特別賞）及び本年度の総務大臣表彰が授与され、島田会長から電波産業会会長表彰が贈呈されました。

その後、受賞者を代表して白坂氏（三菱電機株式会社鎌倉製作所衛星情報システム部先進レーダ衛星プロジェクト部長）よりご挨拶がありました。



電波功績賞表彰式終了後の記念撮影

後列 JAXA 勘角氏、三菱電機 白坂氏、京大 原田氏、NICT 児島氏、東芝 神田氏、NTT ドコモ 音氏、NTT 高橋氏、
日本電気 北島氏、富士通 多木氏、NHK 放送技術研究所 市ヶ谷氏、KDDI 総合研究所 大戸氏、
ジャパンディスプレイ 岡氏
前列 総務省 湯本氏、NTT ドコモ 佐藤氏、KDDI 吉村氏、ソフトバンク 関和氏、高畑選考委員長、
川崎総務大臣政務官、島田会長、楽天モバイル 鈴木氏、第5世代モバイル推進フォーラム 吉田氏、
NHK 放送技術研究所 神田氏、A-PAB 加増氏、総務省 荻原氏

1. 総務大臣表彰（電波産業会創立 30 周年特別賞）

(1) 「第 5 世代移動通信システムの開発、実用化及び普及」

株式会社 NTT ドコモ

代表 前田 義晃 殿（株式会社 NTT ドコモ 代表取締役社長）

KDDI 株式会社

代表 松田 浩路 殿（KDDI 株式会社 代表取締役社長 CEO）

ソフトバンク株式会社

代表 宮川 潤一 殿（ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員
兼 CEO）

楽天モバイル株式会社

代表 矢澤 俊介 殿（楽天モバイル株式会社 代表取締役社長）

第 5 世代モバイル推進フォーラム

代表 吉田 進 殿（第 5 世代モバイル推進フォーラム 元会長）

国民が多様な情報にストレスフリーでアクセスできる環境を実現し、スマートシティ構築、自動運転、精密農業、遠隔医療、AR/VR 技術の発展など、幅広い分野で革新を促し、国民生活の向上と電波産業を含む社会経済活動の発展に大きく寄与した第 5 世代移動通信システムの実現に関し、初期段階から研究開発、標準化、実用化及び普及活動において、多年にわたり主体的かつ先導的な役割を果たし、大きく貢献した。

(2) 「4K8K 衛星放送の開発、実用化及び普及」

日本放送協会 放送技術研究所

代表 神田 菊文 殿（日本放送協会 放送技術研究所 所長）

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

代表 加増 良弘 殿（一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 理事長）

高い解像度、広い色域の表現、豊かな明暗の表現、臨場感のある音響の提供と視聴機器の普及により、国民生活の向上や電波産業を含む社会経済活動の進歩発展に大きく貢献した 4K8K 衛星放送の実現に関し、初期からの研究開発、標準化、実用化及び普及活動において多年にわたり先駆的かつ主導的な働きをされ大きく貢献した。

2. 総務大臣表彰

- (1) 「先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4) によるLバンド合成開口レーダの観測幅拡大と衛星・地上局間の直接伝送速度 3.6Gbps (ギネス世界記録TM認定) を達成」

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

代表 勘角 幸弘 殿 (国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門 先進レーダ衛星プロジェクトチーム
プロジェクトマネージャ)

三菱電機株式会社

代表 白坂 道明 殿 (三菱電機株式会社 鎌倉製作所 衛星情報システム部
先進レーダ衛星 プロジェクト部長)

デジタルビームフォーミング技術の採用により L バンド合成開口レーダの観測幅を前号機と比べて 4 倍の 200km に拡大、また Ka バンドを用いた直接伝送系で衛星と地上局間の通信速度を前号機と比べて 4.5 倍の 3.6Gbps (ギネス世界記録TM) に高速化することで、同一地点観測頻度を従来比 5 倍の年 20 回に向上し広域災害の情報収集や地殻変動監視の迅速化を可能にするなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

- (2) 「Wi-SUN HAN による電力スマートメータリングシステムの実用化」

国立大学法人 京都大学

代表 原田 博司 殿 (国立大学法人 京都大学 大学院情報学研究科 教授)

国立研究開発法人 情報通信研究機構

代表 児島 史秀 殿 (国立研究開発法人 情報通信研究機構
ソーシャルイノベーションユニット 主管研究員)

株式会社東芝／東芝エネルギーシステムズ株式会社

代表 神田 充 殿 (株式会社東芝総合研究所 インフラシステム R & D センター
／グリッド・ソリューション事業部
スマートメーター通信システム技術部 フェロー)

スマートメータリングシステム向けに広域通信、低消費電力を実現する無線通信システムを研究開発し、米国電気電子学会で国際標準化すると共に無線通信規格 Wi-SUN HAN としてその普及を推進し、本規格は日本全国でスマートメーターの主方式として大手電力会社を中心に 2000 万台以上に導入され、電力業界の省エネ化、設備投資効率化及びメニュー多様化を促進するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

3. 一般社団法人電波産業会会長表彰

(1) 「6G に向けたサブテラヘルツ帯での 100Gbps 超高速伝送の実現」

株式会社 NTT ドコモ

代表 中村 武宏 殿 (株式会社 NTT ドコモ R&D 戦略部
コーポレートエバンジェリスト)

日本電信電話株式会社

代表 高橋 宏行 殿 (日本電信電話株式会社 NTT 先端集積デバイス研究所
光電子融合研究部 主幹研究員)

日本電気株式会社

代表 北島 克也 殿 (日本電気株式会社 テレコムサービス BU
ネットワークソリューション事業部門
モバイルアクセス統括部 上席プロフェッショナル)

富士通株式会社

代表 多木 俊裕 殿 (富士通株式会社 モバイルシステム事業本部
技術企画統括部 統括部長付)

6G の大容量通信実現に向け、100GHz 帯で高出力・高効率トランジスタと多素子アクティブフェーズドアレーアンテナを開発し、世界最高クラスとなる屋外距離 100m でスループット 100Gbps 以上の伝送を実証し、また 300GHz 帯で世界最高出力、最高効率の電力増幅器を開発し、世界最高クラスとなる屋内距離 100m でスループット 100Gbps 以上の伝送を実証するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

(2) 「マルチレイヤ符号化を用いた次世代映像符号化技術の研究開発」

日本放送協会 放送技術研究所 次世代放送用映像符号化技術研究開発グループ

代表 市ヶ谷 敦郎 殿 (日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部
副部長)

映像符号化方式 VVC の国際標準化を推進し、同方式によるマルチレイヤ符号化を応用した複数映像を効率良く伝送するコンテンツレイヤリングサービスの開発及び同技術を用いた異種伝送路を併用する放送の拡張性の向上により、視聴者の多様なニーズに対応し、サービス満足度の向上及び電波利用効率の向上を可能とする放送サービスを実証するなど電波の有効利用に大きく貢献した。

(3) 「ミリ波帯カバレッジ拡張を実現する液晶メタサーフェス反射板の開発」

株式会社 KDDI 総合研究所

代表 大戸 琢也 殿 (株式会社 KDDI 総合研究所 無線部門
電波伝搬・デバイスグループ コアリサーチャー)

株式会社ジャパンディスプレイ

代表 岡 真一郎 殿 (株式会社ジャパンディスプレイ R&D 本部 要素開発部
部長)

大容量通信に適するミリ波において、柔軟に散乱パターンを可変形成できる液晶メタサーフェス反射板を開発し、この反射板の活用で基地局アンテナから見通しが無く電波の届きづらい場所の解消が可能であることを実環境で実証し、Beyond 5G/6G の移動体通信ネットワーク実現に向けて前進するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。



表彰式における
島田会長の挨拶



表彰式における
川崎総務大臣政務官のご祝辞



表彰式における
高畑選考委員長のご報告



受賞者を代表して
白坂氏のご挨拶